

文学と化学分析から見た、 日本の食文化における 断絶と継承

国文学研究資料館 2階
オリエンテーションルーム

令和2年 2月 8日 (土)
13:30~16:00

― 古代、江戸から現代まで ―

パネル
日本の食文化における
断絶と継承

Illustration & Design
by Sayaka Koho

食の断絶と継承

入口敦志 (国文学研究資料館 教授)

古書籍から毛髪を抜きだして、江戸時代の食生活を科学する

丸山 敦 (龍谷大学理工学部 准教授)

古代の甘味料甘葛煎の復元

神松幸弘 (立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構 助教)

司会進行 宮本祐規子 (国文学研究資料館 特任准教授)

甘葛煎を使った芋粥の

試食

― 古代式 VS 現代流の食べ比べ ―

無料・要申込先着30名

申込先：国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター事務局 共同研究係
電話：050-5533-2655 / Fax：042-526-8883 / e-mail：cijinfo@nijl.ac.jp

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館
立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構
立命館大学 環太平洋文明研究センター

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

R
RITSUMEIKAN
GLOBAL INNOVATION
RESEARCH
ORGANIZATION

R
RITSUMEIKAN
GLOBAL INNOVATION
RESEARCH
ORGANIZATION

R-PPC

事業主体：歴史的典籍NW事業 異分野融合共同研究 (和食と伝統医学の研究) 「料理・調味料の復元と活用に関する研究」 (国文学研究資料館)